

公共事業再評価調査書（再々評価）

主管課：農地水利課

1 事業概要	事業名：豊波地区・県営かんがい排水事業		前再評価年度：平成18年度																															
	事業種別：土地改良事業	事業主体：沖縄県	(H13～H21)																															
	事業箇所：竹富町	根拠法令：土地改良法	事業期間：H13～H25																															
	(3,846)		(貯水池2基、ファームド1基、散水施設118ha)																															
(整備目的)	総事業費(百万円)：4,118	費用内訳：補助 80/100	事業量：貯水池2基、ファームド1基、散水施設118ha																															
1-2 前評価以降の計画変更	本地区は、竹富町波照間島南部に位置するサトウキビを中心とした畑作地帯である。地形は平坦で、琉球石灰岩を母岩とする保水力に乏しい島尻マージからなり、ほ場整備は完了したものの、畑かん施設が未整備なため恒常的な干ばつ被害をうけている。よって、本事業で周辺農地から流出する雨水を溜める貯水池と、散水施設を整備し、農業用水を安定確保することにより、サトウキビの増収及び高収益作物への転換を進め、農家所得の向上と農家経営の安定を図る。																																	
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ①再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ②事業の中止 <input type="checkbox"/> ③その他（ ）																																	
3 再評価に至った主な要因（具体的理由）	<input type="checkbox"/> ①用地取得の困難 <input checked="" type="checkbox"/> ②調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨その他（ ）																																	
4 事業の進捗状況（H23.4時点）	平成18年度の再評価以降、貯水池タイプ、揚水機場諸元（位置、ポンプタイプ）の再検討を行った。検討内容に基づき工程計画を見直した結果、工期を平成21年度から25年度まで繰り延べする必要が生じたため、再々評価を行うこととなった。																																	
4-2 前再評価以降の主な進捗	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業費(百万円)</th> <th>貯水池(百万円)</th> <th>ファームド(基)</th> <th>揚水機場(基)</th> <th>散水施設(ha)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>4,118</td> <td>2,879</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>118</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施済</td> <td>3,623</td> <td>2,686</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>率</td> <td>88.0%</td> <td>93.3%</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>42%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						項目	事業費(百万円)	貯水池(百万円)	ファームド(基)	揚水機場(基)	散水施設(ha)		計画	4,118	2,879	1	2	118		実施済	3,623	2,686	1	0	50		率	88.0%	93.3%	100%	0%	42%	
項目	事業費(百万円)	貯水池(百万円)	ファームド(基)	揚水機場(基)	散水施設(ha)																													
計画	4,118	2,879	1	2	118																													
実施済	3,623	2,686	1	0	50																													
率	88.0%	93.3%	100%	0%	42%																													
5 事業効果の評価指標（総合耐用年数：62年）（基準年：H23年）（単位：百万円）	① 農業生産向上効果 229 ② 農業経営向上効果 △ 22 ③ 年総効果額 (①+②) 207 ④ 還元率×(1+建設利息率) 0.046 ⑤ 妥当投資額 (③÷④) 4,503		① 総事業費 4,462 ※ 支出済換算係数により換算済み 投資効率' = 妥当投資額 ÷ 総事業費 = 4,503 ÷ 4,462 = 1.01																															
6 事業を巡る状況の変化（前再評価以降）	①社会・経済：竹富町はサトウキビ・パイナップル・肉用牛を中心とした農業が行われており、波照間島においては、サトウキビを中心に野菜等の生産を奨励している。 ②地元・自治体：竹富町は、農業基盤整備を順調に進めてきている。波照間島においても、ほ場整備は既に完了し、順次畑かん施設の整備を進めてきている。島には河川がなく、既存の農業用水は皆無のため、農業用水の確保に対する町及び地元の要望は強い。 ③利害関係者：特になし																																	
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など 波照間島の主な産業は農業であるが、平坦で保水力の乏しい琉球石灰岩からなる島で、河川等の既存水源がない。このため、農業用水源の確保は必要かつ緊急である。 ② 事業の効率性（代替案の可能性やコスト削減） ほ場整備で整備した排水路を集水路として有効活用し、排水を貯水池に溜め、農業用水として利用する現計画は合理的かつ効率的である。 ③ 事業効果の発現状況 貯水池に付帯する揚水機場が未完成なため、末端への送水が出来ず、実質的な事業効果は発現していない。しかし、干ばつ時には、一部完成した貯水池の水をタンク車等で汲み上げる状況が見られる。また、現在、波照間島で耕土流出防止対策事業が実施されているが、これら事業で整備した排水路末端は貯水池へと導水されており、耕土を海域まで流出させない等の効果が間接的に発揮されているところである。																																	
8 今後の対応・見直し	①事業計画等：国及び竹富町と予算調整を図りながら、現計画どおり平成25年度に事業を完了する予定である。 ②対住民関係：問題なし ③執行体制等：現在の組織体制で、計画的な執行は可能である。																																	
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業継続（現計画） <input type="checkbox"/> ②事業継続（見直し） <input type="checkbox"/> ③事業の中止																																	
10 その他（前再評価での主な意見等）	過疎地域（波照間島）での農業の担い手の育成は急務であると思う。																																	